

## 2010年度 決算の概要

### 1. 経営成績

- (1) 連結売上高は、需要の回復による販売数量の増加にも恵まれ、前年度比14%増の1,360億円と過去最高を記録しました。(従来の最高は2007年度の1,352億円)
- (2) 連結経常利益は、上記の数量効果+22億円と製品・原料価格バランスの改善+10億円等により、前年度比75%増の105億円となりました。(従来の最高は1999年度の108億円)
- (3) 3月の東日本大震災に関連する、当社鹿島工場の設備復旧費用等4億円を、「特別損失」として計上しました。鹿島工場は、3月中に設備の修復と安全点検を終え、4月初めより操業を再開しています。

(単位：億円)

	連 結			単 体		
	2009年度	2010年度	伸び率(%)	2009年度	2010年度	伸び率(%)
売上高	1,192	1,360	14	835	937	12
営業利益	61	96	56	31	41	32
経常利益	60	105	75	46	62	35
当期純利益	25	52	105	28	41	45

### 2. 分野別連結売上高

(単位：億円)

	2009年度		2010年度		前年度比	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	442	37	495	36	53	12
石油・輸送機産業関連	266	22	305	23	39	15
プラスチック・繊維産業関連	156	13	181	13	25	17
情報・電気電子産業関連	185	16	217	16	32	18
環境・住設産業関連他	143	12	162	12	19	13
合 計	1,192	100	1,360	100	168	14

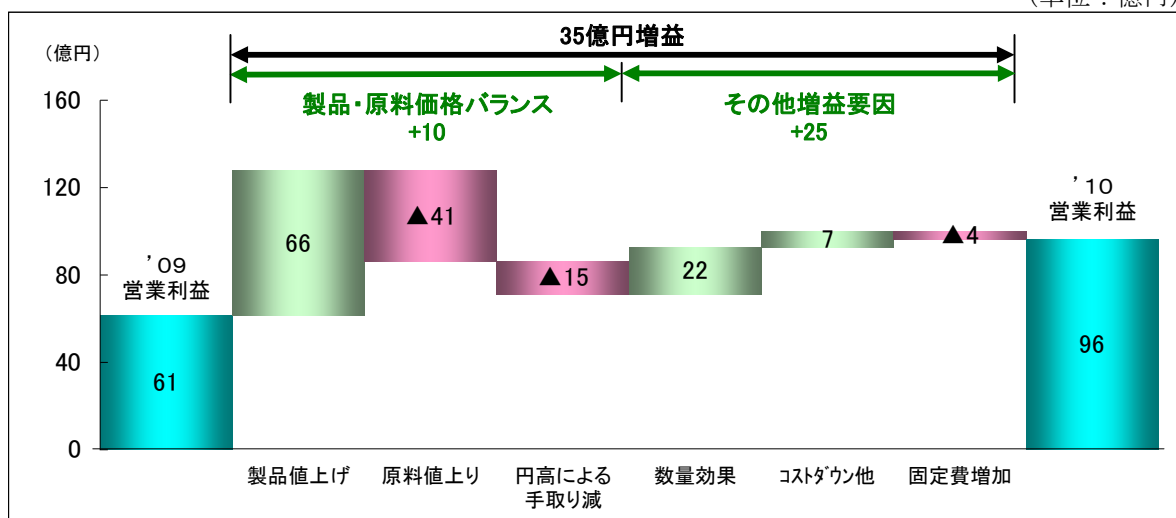
### 3. 分野別連結営業利益

(単位：億円)

	2009年度	2010年度	前年度比 増減
生活・健康産業関連	34	53	19
石油・輸送機産業関連	3	6	3
プラスチック・繊維産業関連	14	20	6
情報・電気電子産業関連	13	17	4
環境・住設産業関連他	△ 3	△ 0	3
合 計	61	96	35

#### 4. 連結営業利益の増減分析（前年度比）

（単位：億円）



#### 5. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当性向 (連結)
	中間期末	期末	年間	
	円 銭	円 銭	円 銭	%
2009年度	5.50	7.50	13.00	56.4
2010年度	7.50	7.50	15.00	31.8
2011年度 (予想)	7.50	7.50	15.00	28.0

#### 6. 2011年度業績予想

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	1,400 ( 2.9%)	86 (△10.6%)	96 (△ 8.8%)	59 ( 13.3%)
単体	920 (△ 1.8%)	41 (△ 1.0%)	60 (△ 3.2%)	42 ( 3.2%)

（ ）内は前年度比増減率

〈業績予想の前提条件〉 為替レート：80円/\$、国産ナフサ価格：5万3千円/KL

#### 7. トピックス

##### (1) 社長交代について

2月28日の取締役会で、当社の社長交代（6月17日予定）を内定し、公表しました。

(新役職名)	(現役職名)	(氏名)
取締役会長	代表取締役社長 兼執行役員社長	家永 昌明
代表取締役社長 兼執行役員社長	取締役 兼専務執行役員	安藤 孝夫

##### (2) 第8次中期経営計画（2011～2014年度）

”Challenge 2000 & 200”をスローガンに、2014年度までに連結売上高2,000億円以上、営業利益200億円以上、ROA（総資産営業利益率）12%以上を達成する計画。6月13日にTDnetやHPで公表する予定です。震災の影響次第で数値目標の一部を修正する可能性があります。

以 上